

問1 平安時代の政治の変遷について述べた次の文のうち、白河天皇が行った政治体制の仕組みとして正しいものはどれですか。

(2024年 愛知公立入試 類似)

1. 天皇が位を退いて上皇となった後も、特定の役職に縛られずに政治の主導権を握った。
2. 藤原氏が娘を天皇のきさきに送り込み、その子供が天皇になると摂政や関白として政治を行った。
3. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、守護や地頭を各地に配置して軍事や警察の権限を握った。
4. 唐の律令を模範とした法を整備し、全国に国司を派遣して土地と民を直接支配した。

問2 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)

1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。
2. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。
3. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。
4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。

問3 7世紀半ば、中大兄皇子らによって行われた「大化の改新」と呼ばれる一連の政治改革において、それまでの豪族による支配を改め、土地と人民を国家の所有とした方針を何と呼びますか。 (2018年 高知公立入試 類似)

1. 公地公民
2. 鎮護国家
3. 外戚政治
4. 封建制度

問4 894年の遣唐使派遣停止を契機として、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。この時期の略年表において、10世紀初頭に醍醐天皇の命を受け、紀貫之らによって編纂された日本で最初の勅撰和歌集として正しい名称を選びなさい。 (2025年 愛媛公立入試 類似)

1. 万葉集
2. 古今和歌集
3. 新古今和歌集
4. 懐風藻

問5 平安時代初期、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を開いた最澄と空海について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広め、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。
2. 最澄は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広め、空海は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。
3. 最澄は阿彌陀仏にすがる浄土宗を、空海は座禅を重視する禅宗を、それぞれ平安京の市中で広めた。
4. 最澄と空海は、遣唐使が停止された後に日本独自の国風文化を背景として、平仮名を用いた布教を行った。

問6 桓武天皇が、それまでの都であった平城京から離れ、長岡京や平安京へと遷都を繰り返した政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 平城京で強大になった仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の政治を立て直すため
2. 大陸との交易を活発にするため、瀬戸内海に面した大型の港を建設し都とするため
3. 東北地方の蝦夷（えみし）を制圧するための軍事拠点として、より北方に位置する土地が必要だったため
4. 平城京において藤原氏の権力が弱まり、新しい有力貴族が自身の拠点に都を移そうとしたため

問7 平安時代末期、平清盛は武士として初めて、朝廷における最高職である官職に任命されました。その官職名を次の中から選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 太政大臣
2. 征夷大將軍
3. 関白
4. 執権

問8 12世紀後半、武士として初めて太政大臣となり、中国の王朝である宋との貿易による利益を求めて、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備した人物は誰ですか。 (2023年 山口公立入試 類似)

1. 平清盛
2. 足利義満
3. 菅原道真
4. 小野妹子

問9 奈良時代には正倉院の「螺鈿紫檀五絃琵琶」に象徴されるような国際色豊かな文化が見られましたが、その後の平安時代に成立した国風文化の特色を説明した文章として、正しいものを選んでください。 (2022年 佐賀公立入試 類似)

1. 遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、これまでの大陸文化を日本の風土や好みに合わせる傾向が強まった。
2. アメリカ大陸との交易が活発になったことで、西洋の楽器や新しい文字体系が日本の伝統文化と融合した。
3. かな文字の発達により、それまで漢字だけで書かれていた『万葉集』がすべて書き直され、武士の間で流行した。
4. 大陸の影響を完全に排除するため、仏教信仰を禁じて日本古来の神道のみを重んじる文化が形成された。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 天皇が位を退いて上皇となった後も、特定の役職に縛られずに政治の主導権を握った。	白河天皇が始めた院政は、天皇が譲位して上皇（院）となり、摂関家の役職である摂政・関白を介さずに政治を動かす仕組みです。これにより、それまで全盛を誇った藤原氏の摂関政治を抑え、独自の軍事力（北面の武士など）を組織して支配を強めました。
問2	<b>答え 1</b> 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治と同じ手法を用いました。娘の徳子を高倉天皇のきさきにし、その子の安徳天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言力を持ちました。また、並行して大輪田泊（現在の神戸市付近）を整備し、日宋貿易を推進して経済力も蓄えました。
問3	<b>答え 1</b> 公地公民	中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足は、蘇我氏を倒した後に唐の律令制度を模範とした改革を進めました。それまで豪族が私有していた土地（田荘）や人民（部民）を国家が直接支配する「公地公民」の原則を打ち出し、天皇中心の中央集権国家の確立を目指しました。
問4	<b>答え 2</b> 古今和歌集	醍醐天皇の命によって編纂された『古今和歌集』は、天皇や上皇の命令で編集された「勅撰和歌集」の最初の事例です。編者の一人である紀貫之は、仮名文字を用いてその序文（仮名序）を記し、日本独自の感性を表現する国風文化の確立に大きく貢献しました。奈良時代の『万葉集』や、鎌倉時代に編纂された『新古今和歌集』との混同に注意が必要です。
問5	<b>答え 1</b> 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広め、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。	最澄（伝教大師）は比叡山（滋賀県・京都府）を拠点に天台宗を、空海（弘法大師）は高野山（和歌山県）を拠点に真言宗をそれぞれ開きました。これらは平安時代初期の仏教の特徴であり、奈良時代の仏教が政治と深く関わっていたのに対し、山の中での厳しい修行を重んじる「密教」としての性格を強く持っていました。選択肢にある浄土宗や禅宗は、後の鎌倉時代に広まった仏教です。
問6	<b>答え 1</b> 平城京で強大になった仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の政治を立て直すため	奈良時代の平城京では、国家の保護を受けた東大寺などの仏教勢力が政治に深く関与するようになっていました。桓武天皇はこうした宗教勢力の干渉を避け、政治の刷新と天皇主導の中央集権体制を再構築することを目指して、新天地である平安京への遷都を断行しました。
問7	<b>答え 1</b> 太政大臣	平清盛は1167年に、それまで貴族の独占状態であった最高官職の太政大臣に就任しました。これにより、平氏の一族が政治の要職を占める「平氏政権」を確立し、武士が政治の実権を握る先駆けとなりました。
問8	<b>答え 1</b> 平清盛	平清盛は、瀬戸内海の制海権を掌握し、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築しました。これにより、中国の宋との間で日宋貿易を積極的にに行い、輸入された宋銭や香料などの品々や、貿易から得られる莫大な富を背景に平氏の全盛期を築きました。足利義満は室町時代の人物で明との貿易を行い、菅原道真は遣唐使の廃止を建議した人物です。
問9	<b>答え 1</b> 遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、これまでの大陸文化を日本の風土や好みに合わせる傾向が強まった。	奈良時代の文化が唐（中国）などの国際的な影響を強く受けていたのに対し、平安時代の国風文化は、日本独自の感覚を取り入れた点が特徴です。894年の遣唐使派遣停止により、大陸からの直接的な影響が薄れたことで、それまでに取り入れた文化を日本流にアレンジする「国風化」が進みました。その象徴の一つが、漢字を日本式に崩したかな文字の活用です。